

7月

ふなばし三番瀬環境学習館

ワークショップ・イベント

1(日)



10:00-12:00

山田陽治さんと作る 干潟水族館

NHK Eテレ「なりきり! むーにゃん生きもの学園」アドバイザーの山田陽治さんと、干潟の生きものを探してミニ水族館を作ろう!

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 小学生以上 (中学生以下は保護者同伴)

定員 子ども 30 人+保護者 | 会場 三番瀬干潟

14:00-14:45

山田陽治さんの 夏の遊び方講座

フィールド遊びの達人、山田陽治さんに、この夏の遊び方を聞いてみよう! 山で、川で、そして海で。この夏、素敵な思い出を作ってみよう!

当日受付 | 料金 無料

対象 小学生以上 (中学生以下は保護者同伴)

定員 先着 100 人 | 会場 多目的ホール

開館
1周年

7(土)

13:00-15:00



砂絵でキラキラ☆七夕かざり

干潟のかわいいキャラクターで、ちょっと変わった七夕かざりをつくらう!

当日受付 | 料金 300 円 / セット

対象 どなたでも(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員 先着 24 人 | 会場 観察コーナー

8(日)

13:00-16:00



天体望遠鏡を作ろう

まもなく梅雨明け、本格的な天体観測のシーズン到来です。今年は7月末に火星が15年ぶりの大接近。自分で作った望遠鏡で観測してみよう。

要事前応募 | 料金 2500 円 / セット

対象 小学校4年生以上

定員 18 組 | 会場 多目的ホール

14(土)

11:00-13:00



海の恵みを味わおう

東京湾の魚を食べよう

東京湾でとれた珍しい魚を食べよう。船橋港にはたくさんの種類の魚が水あげされます。中にはなかなか食卓にのぼらないおいしい魚も。さてさて、今回は何が調理できるかな?

要事前応募 | 料金 500 円 / セット

対象 どなたでも(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員 8 組(24 人) | 会場 キッチンスタジオ

15(日)

28(土)

19:00-20:20



天体観望会

星と潮騒の夕べ

三番瀬から見られる星や星座などの紹介。波の音に耳を傾けながら、美しい星空をお楽しみください! ☆7月は木星、土星、月、さそり座、夏の大三角などを御覧いただけます。

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 小学生以上 (中学生以下は保護者同伴)

定員 20 人 | 会場 展望デッキ

海の目
ウィーク
特別講演

15(日)

13:00-



クジラ博士のスナメリのお話

東京湾にイルカいるか?

世界的なクジラ博士、国立科学博物館の山田 格先生による楽しい講演会! 東京湾にまれに姿を見せるイルカ「スナメリ」の全身標本を見ながらお話を聞こう。おみやげつき。

要事前応募 | 料金 無料

※定員に満たない場合は当日受付可

対象 小学校3年生以上

定員 80 人 | 会場 多目的ホール

16(月祝)

10:00-12:00



三番瀬ちびっこ探検隊

干潟の生きものを探そう

小学校2年生までを対象に、ふなばし三番瀬海浜公園前の干潟にくらしているカニや貝などを観察しよう! スコップ片手に帽子をかぶって、レッツ生きものさがし!

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 小学校2年生までの児童とその保護者

定員 30 人 | 会場 三番瀬干潟

21(土)

13:00-15:00



ふなばし立体地図を作ろう

船橋市の立体地図模型を作ろう。地形がわかると、産業や暮らしや文化が見えてきます。夏休みの自由研究に役立つことまちがいない。

要事前応募 | 料金 300 円 / セット

対象 小学生以上(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員 30 人 | 会場 観察コーナー

22(日)

13:00-15:00



生きもののしくみを知ろう

マイワシ

身近な食材であるマイワシを用いて、おはしでお魚実験をしましょう。サカナはどうやって泳ぐのかな? エサと酸素を同時にゲットするしくみって? ワークショップで発見しましょう。

要事前応募 | 料金 300 円 / セット

対象 小学生以上(小学校3年生以下は保護者同伴)

定員 24 人 | 会場 キッチンスタジオ

29(日)

9:00-12:00



三番瀬探検隊

♪鳥くんと野鳥を探そう

プロバードウォッチャー「♪鳥くん」がガイドをつとめる野鳥観察会です。東京湾に残された自然の宝庫三番瀬で季節ごとに様々な鳥達と出会うことができ、楽しく学べるイベントです。

要事前応募 | 料金 高校生以上300 円 / 人

対象 どなたでも (中学生以下は保護者同伴)

定員 30 人 | 会場 三番瀬干潟

自由
研究

自由
研究

4(土)

13:00-15:00



▲スズキの頭骨

自由研究

生きもののしくみを知ろう

魚のあたま

あら汁やカブト煮などのお料理で使われる魚のあたまを観察してみよう。魚はどうやってエサを食べているのかな? くちやエラはどう動くのかな? ワークショップで発見しましょう。

要事前応募 | 料金 300 円 / セット

対象 小学生以上 (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 24 人 | 会場 キッチンスタジオ

5(日)

10:00-12:00



自由研究

三番瀬探検隊

浜辺の植物を探そう

ふなばし三番瀬海浜公園にはどんな植物があるんだろう? 公園や浜辺を散策して、家の近くで見たことがある植物、浜辺にしかない植物をたくさん探して観察しよう。

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 どなたでも (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 30 人 | 会場 ふなばし三番瀬海浜公園

11(土祝)

10:00-12:00



自由研究

三番瀬探検隊

干潟の生きものを探そう

ふなばし三番瀬海浜公園前の干潟にくらしているカニや貝などを観察! 生きものがいる場所を地図に記して、どんなところでどんなふうにくらしているかを考えよう!

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 小学生とその保護者
定員 30 人 | 会場 三番瀬干潟

11(土祝)

19:00-20:20



自由研究

天体観望会

星と潮騒の夕べ

三番瀬から見られる星や星座などの紹介。波の音に耳を傾けながら、美しい星空をお楽しみください! ☆ 8 月は火星、土星、木星、夏の大三角などを御覧いただけます。

要事前応募 | 料金 100 円 / 人

対象 小学生以上 (中学生以下は保護者同伴)
定員 20 人 | 会場 展望デッキ

12(日)

10:00-12:00



自由研究

ふなばしを食べつくそう

夏野菜ゼラートを作ろう

ふなばし名産の旬の野菜を使つたひんやり美味しい2色ゼラートをつくって、この夏を味わおう!

要事前応募 | 料金 300 円 / セット

対象 小学生以上 (小学校4年生以下は保護者同伴)
定員 8 組 24 人 | 会場 キッチンスタジオ

18(土)

13:00-14:00



自由研究

廃油から石けんを作ろう

廃油を使って環境を考えたエコ石鹸をつくろう。苛性ソーダを使わず、ペットボトルでつくるので誰でも安全につくれます。油污れには大活躍まちがいなし。

要事前応募 | 料金 500 円 / セット

対象 小学生以上 (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 24 人 | 会場 観察コーナー

19(日)

13:00-16:00



自由研究

ペットボトルロケット工作

「飛距離記録会」

500ml ペットボトルを使ってロケットを作ろう。好きな色や模様塗って、完成したら、外の芝生広場で飛ばして記録会。どのくらい飛ばせるかな?

要事前応募 | 料金 1300 円 / セット

対象 小学生以上 (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 20 人 | 会場 観察コーナー・芝生広場

25(土)

10:00-12:00



自由研究

干潟クロックをつくろう

干潟で貝や流木などの漂着物をひろって、オリジナルの時計をつくります。

要事前応募 | 料金 500 円 / セット

対象 どなたでも (小学校3年生以下は保護者同伴)
定員 各回 8 組 24 人 | 会場 観察コーナー

26(日)

9:00-12:00



自由研究

三番瀬探検隊

♪鳥くんと野鳥を探そう

プロバードウォッチャー「♪鳥くん」がガイドをつとめる野鳥観察会です。季節ごとに様々な鳥達と出会うことができ、楽しく学べるイベントです。

要事前応募 | 料金 高校生以上300 円 / 人

対象 どなたでも (中学生以下は保護者同伴)
定員 30 人 | 会場 三番瀬干潟

夏休み!

自由研究支援



自由研究

今年の夏は、自由研究に挑戦だ。マークの付いたワークショップに参加して、研究のテーマを探してみよう! 生きもの、環境、美味しいデザート、自分だけの研究を完成させよう!

[応募締切] 開催日の1週間前

[お申し込み先] ふなばし三番瀬環境学習館

E-mail : ws@sambanze.jp

Tel : 047-435-7711

※応募多数の場合は抽選(結果は当落に関わらず連絡)。締め切り日を過ぎても空きがある場合は延長します。

※ワークショップ名、参加日、人数、参加される方全員のお名前、学年、住所、電話番号(昼間に連絡の取れる番号)をお知らせください。

※メールでご応募の方は、左記アドレスのメールが受信可能な設定にしておいてください。

※キャンセルの場合は必ず事前にご連絡ください。無断でのキャンセルが続きますと次回からのご参加をお断りさせていただく場合もございます。

さばかん つうしん

さんばんぜかんきょうがくしゅうかん



夏休み スペシャル①

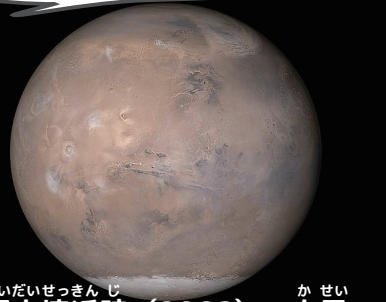
こんげつ 今月のテーマ

かせいだいせつきん 火星大接近

ことし がつ にち ねん かせい ちきゅう だいせつきん でんきてん うば
今年の7月31日は、15年ぶりに火星が地球に大接近します。ホームセンターや電器店のカメラ売り場にはたくさんの望遠鏡が並んでいますが、今年の火星は簡単な望遠鏡でも十分に観測できます。ご興味のある方、夏休みは火星観測にチャレンジしてみませんか？

かせい たいようけい わくせい わたしたち ちきゅう そとがわ きどう めぐ ほし ねん かげつ
火星は太陽系の惑星のひとつ。私達の地球のすぐ外側の軌道を巡っている星で、およそ2年2ヶ月ごとに地球と接近します。ただし、火星の軌道は地球よりも潰れた楕円形なので、接近のたびごとに地球・

しろ ぶぶん ゆき
白い部分は雪かな？



ぜんかいだいせつきん かせい
前回大接近時 (2003) の火星
NASA/JPL/Malin Space Science Systems

かせい かん きょり こと こんかい だいせつきん とき
火星間の距離は異なり、今回のような大接近になる時もある。それほど近づかない時もあります。今年は条件が良く、前回2003年以来的大接近となります。大接近の時、地上から見た火星の明るさは全天でもっとも明るい恒星シリウスをしのぎ、明けの明星、宵の明星とも言われる金星の明るさに迫ります。スマートフォンのカメラでもはっきり写るほどの明るさです。この時期、火星は最も遠い時の5倍を超える大きさ(直径)で見えるようになり、簡単な望遠鏡でも火星の南極にある南極冠の白さや地形などが確認できます。

みな なか かせいじん かんが ひと おも せい き せい き
ところで、皆さんの中に“火星人”がいると考える人はいないと思いますが、19世紀から20世紀はじめにかけて、火星の存在を信じる人は少なくありませんでした。例えば1877年、イタリアの天文学者スカパレリは、火星に不思議な線状の模様がある事を発見します。当時の望遠鏡は性能が良くなかったので見間違えたようですが、そのニュースが英訳された際に「運河」と誤訳した事で騒動が大きくなります。砂嵐によって季節ごとに火星表面の模様が異なって見えることも、運河によって水を運び、大規模に環境を変える惑星レベルのかんがい農業が行われていると誤解される原因となりました。

げんざい かんそく ぎじゆつ はったつ かせい うんが うみ
現在では観測技術が発達し、火星には運河も海もないことがわかっています。しかし、将来の人類の移住先として火星をかんが ひと おお じつぎょうか ねん
考える人は多く、アメリカの実業家イーロン・マスクは2024年にかせい じんるい おく けいかく じっさい すす
火星に人類を送る計画を実際に進めています。もししたら、かせい うんが けんせつ うみ う だ かせいじん
火星に運河を建設したり、海を生み出すのは火星ではなく、みなさんを含む近未来の人類なのかも知れませんね。(和田)

ヒエーッ!
タコみたい



むかし ひと かんが かせいじん
昔の人が考えた火星人
"War of the Worlds" (1917 edition)

や ちよう 野鳥インフォメーション

なまえ ゆらい あし きいろ
キアシシギの名前の由来は、まさに足が黄色いことからきています。さんばんぜ はる あき わた
三番瀬では、春と秋の渡りの比較的遅い時期に渡来し、大きな群れはすうわ こうどう おおや
つぐらずに1~数羽で行動します。(大谷)



カニを見つけると
もろ 猛グッシュして捕まえます。

記事を書いた人

副館長
和田



お台場の某科学館、新潟の科学館を経て現職。
子供の頃からド近視。大人になってようやく直り、生まれて初めて満天の星を見て感激したのが今の仕事に就いたきっかけ。

さばかん つうしん

さんばんぜかんきょうがくしゅうかん



夏休み
スペシャル②

こんげつ
今月のテーマ

さんばんぜ い き 三番瀬の生きものたちが消える?

夏の特別展「三番瀬クエスト」は、謎を解いて消えた干潟の生きものたちを取り戻すリアル RPG。でも「干潟の生きものが消える」、もっといえば「干潟が消える」という「事件」は、長いながい地球の歴史上、実は過去に何度も起きています。



ゆうれいみたい!



「干潟の幽霊」ニホンスナモグリ。
からだはやわらかく、半透明。

「干潟の幽霊」みなさんは三番瀬干潟に「幽霊」がいることをご存知ですか? 「スナモグリ」というエビやカニのなかまは、英語の名前が“ghost shrimp” (または “ghost nipper”) といって、直訳すると「幽霊エビ」です。たしかに、スナモグリはからだはやわらかく、半透明で、光にかざすとうっすらと透けますので、名前の通りまるで「幽霊」のようにもみえますね。そんなスナモグリの化石が、海岸から遠く離れた内陸で発見されることがあります。これはいったいなぜでしょう?

スナモグリ化石の謎 いまから約 12 万年前、関東一帯には「古東京湾」とよばれる海がひろがっていたことがわかっています。当時、現在の三番瀬にみられるような干潟の環境は、もっと内陸側に存在していたため、スナモグリのみならず、干潟の生きものたちの化石がそこから発見されることがあるのです。



かたいハサミだけが化石としてのこったんだね!



絶滅種「オオスナモグリ」の鉗脚化石
Kato & Karasawa (1998) より引用。

太陽系の惑星である地球には、「太陽からの距離」や「地軸の傾き」の変化などによってもたらされる数万年単位のリズムがあります。そのリズムによって、気温、氷と海水の量、陸地の浮き沈みなどに変化が生じ、海岸線が「移動」してきたのです。化石の謎をひもときると、生きもの進化、地球や宇宙の事情までを視野に入れ、何十万年の(あるいはもっとももっとも〜…と! たくさんの)時間からものを考えなくてははいけませんから、とってもたいへんですが、そこが面白いところでもあるのです。(薄井)

[引用文献]

- ・ Hisayoshi Kato, Hiroaki Karasawa (1998) Pleistocene Fossil Decapod Crustacea from the Boso Peninsula, Japan. *Nat. Hist. Res.*, Special issue 5, 1-31.
- ・ 菊地隆男 (1980) 古東京湾. アーバンクボタ, 18, 16-21.

やちょう 野鳥インフォメーション

三番瀬ではほぼ1年中見られるダイゼン。夏羽は腹部から顔にかけて黒いですが、冬羽は全身が灰色になり、まったく違った鳥に見えます。8月頃から幼鳥も集まってきます。(大谷)



これから冬に向けて羽が生え換わっていきます。

記事を書いた人

科学コミュニケーター
薄井



三番瀬の生きもの標本をつくっています。
好きな食べものは中華まき。
好きな言葉は <Festina lente> (「ゆっくりにそげ」ラテン語のことわざ)。(ほぼ毎日砂浜でホネを拾っています。)